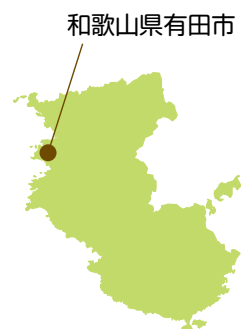


社員食堂が人気！ 若手からシニア層まで幅広い世代が活躍

株式会社早和果樹園

※2018年3月現在

代表者名	秋竹 俊伸	資本金	85 百万円
設立年	2000 年 11 月 1 日	売上高	781 百万円 (2016 年 6 月期)
事業内容	生産 (温州みかん、黄金柑、清見)、消費者直売、加工・製造	経営規模	樹園地 8ha、加工施設 1,000㎡ (搾汁、ジュース・ゼリー・ジャム・ポン酢・アイス等製造)、直売所 10㎡ (27 種類)
従事者数	70 人 (うち女性 42 人。女性内訳：管理職 2 人、一般職 19 人、常勤パート 21 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援] 介護休業 [女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (休憩室・屋内トイレ)、重労働等の業務改善		



経営概況

株式会社早和果樹園は、日本有数のみかんの大産地・和歌山県有田市にて温州みかんの生産・加工・販売をおこなう。創業は1979年、専業農家7戸が集まった「早和共撰組合」が原点である。そして2000年に法人化し、後継者4名を含む総勢17名でスタートした。現在は、後継者らが中心となって会社を経営しており、従業員数は70名まで拡大。その6割を女性が占める。栽培面積8haで温州みかん(約200t)などを生産し、自社ブランド「味まるみかん」や「味こいみかん」として販売する。代々培われてきたみかんの栽培

法に加え、ICT農業システムを導入するなど、先進的なみかん栽培を進めている。2003年からは農産加工を開始。美味しいみかんだけを利用した100%ジュース「味ーしぼり」や、果汁を90%以上使用した濃厚みかんゼリー「味ージュレ」など、有田みかんを使った多様な商品を展開する。特にギフト用商品が人気となり、2016年6月期の売上高は7億8,155万円と、前年より1億円以上増加した。「にっぽんの美味しいみかんに会いましょう」を社是とし、みかん産業のリーディングカンパニーとして日々進化する同社。幅広い世代の女性たちによる活躍がその原動力となっている。

1. 経営者の理念・意識改革

同社では、若手から中堅層、シニア層まで幅広い世代の女性が働く。同社の礎を築いてきたのは、創業メンバーの7組の夫婦。当時から専業農家として夫婦で農作業に従事していたこともあり、7名の女性たちは夫と共同で薬剤散布や摘果・収穫作業をおこなうほか、荷造り・選別など細やかな仕事を中心的に担ってきた。また、加工



事業を始めてからは、ジュースのビン詰め、ラベル貼りなどの場内業務も担当。仕事に対して常に粘り強く、長年培ってきた知恵や卓越したスキルは同社の発展を支えてきた。

その後、加工品の販売が拡大するにつれて、近隣の主婦層を中心にパート従業員の雇用が拡大。創業時より女性中心の体制をとっていたこともあり、個人にあった働き方を推奨した。結果的に、結婚・出産などで企業を離職していた地元の優秀な人材が集まり、希望者は正社員として迎え入れた。また、数年前からは新卒採用を積極的に開始。2017年度には4名（うち女性3名）を採用した。現在では、20代が全体の3割を占め社内の雰囲気も一気に変わったという。

女性が働く現場は、生産、加工品製造、出荷、営業、総務など多種多様。男女関係なく適性に合わせて配属している。

2. 女性が働きやすい環境の整備

産前産後休業、育児・介護休業制度を整備。正社員・パート従業員の区別なく、育児や介護が必要であれば、出退勤を調整する。また、地域には未就学児のいる女性も地域には多く、短時間勤務などで積極的に募集している。

生産現場では、AT限定免許の女性でも作業できるようにATの軽トラックを導入。男女別のトイレやロッカーも設置した。

2017年には、創業メンバーの女性たちの新たな職場として、100%子会社の「株式会社早かなでしこ」を設立。休憩室の一角を利用して、社員食堂として昼食を提供している。メニュー開発から材料の調達、調理はすべて女性たちが担当し、毎日40食ほどをつくる。新たな女性活躍の場となっているほか、社員には食生活改善や、家事軽減につながると好評だという。本人の意向を尊重し「働きたいだけ働いてもらう」が同社の基本方針。「仲間と一緒になんでも言いたいことを

言い、よく笑う。それが楽しく長く仕事をしていく秘訣」と最高齢の80歳女性は話す。

3. 女性のキャリア形成

課長5名のうち2名は女性だ。特に、出荷やお客様対応など女性の細やかさが発揮できる部署では、女性を積極的に課長や主任など管理職に登用する。現場でのコミュニケーションが円滑になり、職場環境を理由とする離職はほとんどなくなった。また、女性課長を中心に母の日向けのネットショップ限定商品を開発。小さくて可愛いギフト用のゼリーセットは大ヒットし、1,200セットを販売。ネットショップの売上は前年同時期と比べ8倍となった。

また、生産現場8名のうち2名は女性だ。女性のがんばりに負けていられないと職場に相乗効果が表れているほか、彼女たちに憧れて生産現場を希望する学生も増えているという。

同社では、外部の研修会などに、新入社員から管理職まで男女問わず幅広く出席させている。社内に若い人材が増えてきた時期から、会社の雰囲気にも活気が出て、販売先からも「会社の雰囲気がいいですね」と言われるほど、よいサイクルが生まれている。若手社員たちには、今後さらなる活躍を期待している。

審査委員の声

専業農家7組の夫婦が創業メンバー。6次産業化を成長軌道に乗せ、後継者も次世代にうまく引き継がれていて、みかん農業のリーディングカンパニーとしての意識と責任が強い。創業時より女性中心の体制がとられているので、希望に合った就業形態が選択できるため、男女関係なく地元の優秀な人材の確保に繋がっている。また、課長や主任などの管理職に女性を積極的に登用し営業や商品開発で成果をだしており、まさにダイバーシティを実践する農業法人である。